

何事も「基本」ができていなければ、上達もないし発展もありえません。

「基本」とは 判断・行動・方法などのよ
りどころとなる大もと。基礎」と国語辞典
には記されています。基本」を用いた熟語
には「基本給」「基本財産」「基本的人権」
「基本法」「基本単位」「基本ソフト」等々
があり、要は「もと」となるものです。
ゴルフはグリップ、アドレス、ボールポ
ジション、スイング、野球はキャッチボー
ル、素振り、サッカードリフティング、書
道では筆法などが基本といえるでしょう。
当然のことながら「基本」ができていない
と「応用」が利きません。

倫理法人会活動の基本としては各種の活
動マニュアルがあります。経営者モーニン
グセミナー「マニユアル」にはまず、経営者
モーニングセミナーの意義」が記されてい
ます。

自らが自己革新を図り、企業と家庭の健
全な繁栄と地域社会の発展、ひいては日本
創生に貢献するリーダーを育成するために、
一、純粋倫理の学習・実践の場
二、朝型の生活習慣を体得する場
三、異業種交流・情報交換

と意義・目的が示されています。
また、純粋倫理を学ぶ「基本テキスト」
は『凡人幸福の栞』です。倫理法人会組織
の基本単位は「正倫理法人会」が百社以上、
「準倫理法人会」は五十社以上です。
こうした基本ができていないか否かで、発



新年を迎えるにあたり 基本に立ち返る

展・成長などに差異が出てくるのです。

建築物も同様です。基礎がいいかげんな
場合、建築物が高くなればなるほど傾きが
大きくなります。基礎が脆弱だと、上屋が
大きくなればなるほど崩れやすくなります。
つまり「基本」や「基礎」とその上にある
ものは同体だということです。

建築物の傾きで有名なのは、イタリアの
ピサ市にある大聖堂・通称「ピサの斜塔」
です。傾きの原因は地盤の土質が不均質で
あったということです。南側の土質が柔ら
かく、年月を経るうちに南側への重量負担
が大きくなって傾き始めました。

その傾きを食い止めるために一九三五年
より工事が始まり、二〇〇八年に地質学者
より倒れる危険が回避されたとの見解が出
されたそうです。その期間は何と七十年も
かかったのです。

どんなに立派な建築物であっても、「基
礎」が強固でないと崩壊してしまいます。
また、傾き始めたならその速度は増すばかり
で、改善・修復には膨大な労力が必要とな
るのです。

企業、家庭、社会、国家、組織活動の営
みも、「基本」や「基礎」が最も重要な要素
です。そして言うまでもなく、人間社会の
健全な発展・繁栄の基本は「倫理」だと考
えられるでしょう。

この基本ができていないかどうかをチェッ
クし、強固な基礎を築いて、さらなる発展
を目指そうではありませんか。

絵・わたなべじゅんじ